

Q7 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。（○は1つ）

1 ひとり暮らし	4 親と子ども夫婦（二世帯家族）
2 夫婦のみ（一世帯家族）	5 親と子どもと孫（三世帯家族）
3 親と未婚の子ども（核家族）	6 その他（ ）

Q8 あなたには子どもがいらっしゃいますか。（○はあてはまるもの全て）

1 妊娠中である	5 短大・大学生・専門学校生
2 小学校入学前の子ども	6 社会人
3 小・中学生	7 いない
4 高校生	8 その他（ ）

男女平等と人権についてお伺いします

Q9 あなたは現在、次のような場面で男女が平等になっていると思いますか。①～⑧の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。（○は各項目に1つずつ）

	1 優遇されている 男性が非常に	2 どちらかといえ ば男性が優遇さ れている	3 平等になっ ている	4 どちらかといえ ば女性が優遇さ れている	5 優遇されてい る 女性が非常に	6 わからない
①家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6
②職場の中で	1	2	3	4	5	6
③学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑤地域活動・社会活動の場で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の面で	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念、慣習、しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体として	1	2	3	4	5	6

Q10 今後、男女があらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うことは何ですか。
(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 | 女性の就業、社会進出を支援する施設やサービスの充実を図ること |
| 2 | 女性・男性を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること |
| 3 | 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に能力の向上を図ること |
| 4 | 家庭でのしつけから学校教育まで、子どもに対して一貫した男女平等教育をすること |
| 5 | 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改めること |
| 6 | その他 () |
| 7 | 特にない |

Q11 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------------|---|--------|
| 1 | そう思う | 4 | そう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 5 | わからない |
| 3 | どちらかといえばそう思わない | | |

Q12 テレビや新聞、雑誌等における性・暴力表現についてどのようにお考えですか。
(○はあてはまるもの全て)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ |
| 2 | 女性のイメージや男性のイメージについて、かたよった表現をしている |
| 3 | 性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない |
| 4 | 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている |
| 5 | 女性に対する犯罪を助長している |
| 6 | その他 () |
| 7 | 特に問題はない |

Q13 あなたが女性の人権が侵害されていると感じるのは、どのようなことについてですか。
(○はあてはまるもの全て)

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 配偶者・パートナーからの暴力 |
| 2 | セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ) |
| 3 | ストーカー行為 |
| 4 | 売春・買春・援助交際 |
| 5 | 痴漢行為や強制わいせつなどの性犯罪 |
| 6 | 容姿を競うコンテストの開催 |
| 7 | 風俗営業 |
| 8 | ヌード写真やポルノ雑誌など |
| 9 | その他 () |
| 10 | 特にない |

家庭・子育て・介護についてお伺いします

※Q14～16 は、Q5で「結婚している」又は「未婚だが同居のパートナーがいる」を選択した方のみお答えください。

Q14 実際にあなたの家庭では家事や育児、介護などは、夫婦（男女）のどちらが分担していますか。①～⑫の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。（○は各項目に1つずつ）

	1 主に夫 (男性)	2 夫婦(男女) がおおむね 同じ	3 主に妻 (女性)	4 主にその 他の人	5 該 当 事 項 な し
①食事の支度	1	2	3	4	5
②食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5
③掃除	1	2	3	4	5
④洗濯	1	2	3	4	5
⑤ゴミ出し	1	2	3	4	5
⑥日常の買い物	1	2	3	4	5
⑦日常の家計の管理	1	2	3	4	5
⑧高額な商品購入の決定	1	2	3	4	5
⑨預貯金など財産の管理	1	2	3	4	5
⑩育児（現在、または過去に）	1	2	3	4	5
⑪町内会や自治会への出席	1	2	3	4	5
⑫高齢者・病人などの世話（現在、または過去に）	1	2	3	4	5

Q15 Q14 の①から⑫までの項目のうち、もっと自分が分担してもよいと思うものがあれば、3つまで選んで、次の記入欄に数字をご記入ください。

記 入 欄				
-------	--	--	--	--

Q16 Q14 の①から⑫までの項目のうち、もっと配偶者又はパートナーに分担して欲しいと思うものがあれば、3つまで選んで、次の記入欄に数字をご記入ください。

記 入 欄				
-------	--	--	--	--

Q17 あなたは、結婚・離婚についてどのようにお考えですか。①～⑩の項目について、それぞれあてはまる番号をお選びください。（○は各項目に1つずつ）

	1 そう思う	2 どちらかという とそう思う	3 どちらかといえ ばそう思わない	4 そう思わない	5 どちらともい えない
①女性も男性も結婚した方がよい	1	2	3	4	5
②結婚する、しないは、個人の自由であるから、どちらでもよい	1	2	3	4	5
③結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい	1	2	3	4	5
④結婚と性的関係は別である	1	2	3	4	5
⑤結婚したら子どもを持つ方がよい	1	2	3	4	5
⑥子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない	1	2	3	4	5
⑦夫婦が別姓を名乗るのを認めた方がよい	1	2	3	4	5
⑧結婚をした以上、離婚すべきではない	1	2	3	4	5
⑨結婚しても、相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5
⑩一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である	1	2	3	4	5

Q18 あなたは、出生率が低下している原因は何だと思いますか。次の中からあなたの考えに最も近いものをお選びください。（○は3つまで）

1	子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み（雇用条件・保育等）が整っていない
2	子育てにお金がかかりすぎる
3	結婚しない人が増えた
4	子どもより仕事や余暇等を充実したいと考える人が増えた
5	女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した
6	楽をしたい、子育てが面倒という人が増えた
7	出産・子育てに対する男性（夫）の理解・協力が足りず、女性（妻）の精神的・肉体的負担が大きい
8	その他（ <input type="text"/> ）
9	わからない

学校教育についてお伺いします

Q19 あなたは、学校教育の場で男女平等の意識を深めるために、どのようなことが大切だと思いますか。（〇はあてはまるもの全て）

- 1 学校生活全般において男女平等についての意識を高めること
- 2 家庭科などを通じて、男女共に家庭生活に必要な知識・技術を教えること
- 3 男女にかかわらず、児童・生徒の個性や能力に応じた生徒指導、進路指導を行うこと
- 4 互いの性を尊重しあうことや子どもを産み育てることの大切さを教えること
- 5 性別によって役割や順番（名簿や座席など）を固定しないこと
- 6 女性の校長や教頭を増やすこと
- 7 校長や教頭、職員などに対して、男女平等についての研修を行うこと
- 8 その他（)
- 9 わからない

就労についてお伺いします

Q20 あなたは女性が職業を持つことについてどのようにお考えですか。次の中からあなたの考えに最も近いものをお選びください。（〇は1つ）

- 1 女性は職業を持たない方がよい
- 2 結婚するまでは職業を持つ方がよい
- 3 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
- 4 結婚や出産にかかわらず職業を持ち続ける方がよい
- 5 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業（パート）を持つ方がよい
- 6 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業（常勤）を持つ方がよい
- 7 その他（)
- 8 わからない

Q21 女性が働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。現在、働いていない方は、過去の経験やイメージでも結構ですでお答えください。（〇はあてはまるもの全て）

- 1 企業において昇進・賃金等の男女間格差の解消
- 2 保育所・介護施設の充実及び学童保育などのサポート体制の充実
- 3 結婚、出産、育児、介護のために退職した従業員の再雇用制度の充実
- 4 企業における女性の管理職等への登用の推進
- 5 育児休業^{※1}・介護休業^{※2}中の賃金等の充実
- 6 仕事と家庭の両立を支援する制度の整備・普及
- 7 総労働時間の短縮
- 8 フレックスタイム制^{※3}の導入
- 9 パートタイマーなど、非正規職員の労働条件を改善すること
- 10 在宅勤務など多様な働き方の推進
- 11 女性が働き続けることに対する家族等の理解と協力
- 12 女性自身の自覚と意欲の向上
- 13 男性の家事の分担など固定的な性別役割意識^{※4}の改革
- 14 企業の意識の変化
- 15 その他（)
- 16 わからない

- ※1 **育児休業**：労働者が原則として1歳に満たない子どもを養育するために取得する休業をいいます。また、一定の事情がある場合は、子どもが1歳6か月に達するまでの間、育児休業することができます。
- ※2 **介護休業**：負傷、疾病又は身体上もしくは精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態にある対象家族を、労働者本人が介護するための休業をいいます。
- ※3 **フレックスタイム制**：1日の所定労働時間の長さを固定的に決めずに、1か月以内の一定期間の総労働時間をあらかじめ決めておき、その範囲内で労働者が各自の始業・終業時刻を自主的に決定して働く制度のことをいいます。
- ※4 **固定的な性別役割意識**：例えば「男は仕事、女は家庭」「男性は主要業務、女性は補助的な業務」というように、性別を理由として役割を固定化してしまう考え方や意識をいいます。

男女間の暴力についてお伺いします

Q25 配偶者や恋人などパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV）※1、デートDV※2）が社会問題になっていますが、次の①～⑧の項目について、それぞれ当てはまる番号をお選びください。（○は各項目1つずつ）

- ※1 **ドメスティック・バイオレンス（DV）**：夫や恋人などからの暴力、略してDVといいます。パートナーの女性を殴る・蹴るなどの身体的暴力のほか、生活費を渡さない経済的暴力、大事なものを壊す、不快な言動をするなどの心理的暴力、無理矢理性交渉に及ぶ性的暴力など、さまざまな形があります。
- ※2 **デートDV**：婚姻関係にない恋人や元恋人、交際中、交際していたなどの親密な関係の相手からの暴力のことをいい、日本における造語です。

	1 ある	2 されたことがある	3 まったくない
①なぐる、ける、引きずり回すなどの暴力をふるわれる	1	2	3
②大声でどなられる	1	2	3
③何を言っても無視され続ける	1	2	3
④携帯電話やメールのチェック、外出や人付き合いなどを制限される	1	2	3
⑤嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない	1	2	3
⑥見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	1	2	3
⑦「誰のおかげで食べていけると思っているんだ」「甲斐性なし」「おまえはバカだ」などとののしられる	1	2	3
⑧給料を取り上げたり、生活費を渡さないなど経済的に圧迫される	1	2	3

Q26 Q25の①から⑧のいずれかで「1」又は「2」に○をつけた方にお伺いします。
そのとき、あなたは誰に相談しましたか。（○はあてはまるもの全て）

1 配偶者以外の家族	8 民生委員・人権擁護委員
2 親類	9 医師、カウンセラー
3 友人・知人	10 家庭裁判所、弁護士
4 警察	11 民間の支援団体
5 鴨川市福祉総合相談センター (ふれあいセンター1階)	12 その他 ()
6 安房健康福祉センター(安房保健所)	13 誰にも相談しなかった
7 千葉県女性サポートセンター	

Q27へ

Q27 Q26で「13 誰にも相談しなかった」とお答えの方にお伺いします。
相談しなかったのはなぜですか。（〇はあてはまるもの全て）

- | | |
|----|---|
| 1 | どこ（誰）に相談して良いのかわからなかった |
| 2 | 恥ずかしくて誰にも言えなかった |
| 3 | 相談しても無駄（解決につながらない）だと思った |
| 4 | 周囲の人がDVを信じてくれないと思った |
| 5 | 相談したことがわかると仕返しにもっとひどい暴力を受けると思った |
| 6 | 自分（被害者）さえ我慢すれば何とかこのままやっていけると思った |
| 7 | 他人を巻き込みたくなかった |
| 8 | 子どもに危害が及ぶと思った |
| 9 | 自分（被害者）にも悪いところがあると思った |
| 10 | 相談するほどではないと思った |
| 11 | そのこと（暴力）について、思い出したくなかった |
| 12 | 以前は優しかったので、いつか変わってくれると思った |
| 13 | 相手が反省する時があり、「この人には私がないとだめなんだ」と思ってしまった |
| 14 | その他（ ） |
| 15 | わからない |

Q28 配偶者や恋人などパートナーからの暴力に関する相談窓口を知っていますか。
（〇はあてはまるもの全て）

- | | |
|---|---|
| 1 | 警察 |
| 2 | 鴨川市福祉総合相談センター（ふれあいセンター1階） |
| 3 | 安房健康福祉センター（安房保健所） |
| 4 | 千葉県女性サポートセンター |
| 5 | 民生委員・人権擁護委員 |
| 6 | 民間の支援団体（NPO法人等） |
| 7 | その他（ ） |
| 8 | わからない |

Q29 配偶者や恋人などパートナーからの暴力について、今後行政に対してどのような対応を望みますか。（〇はあてはまるもの全て）

- | | |
|---|---|
| 1 | 警察による対応の充実 |
| 2 | 緊急一時避難所（シェルター）の確保 |
| 3 | 相談体制の連携充実 |
| 4 | 相談機関等の周知 |
| 5 | 配偶者暴力相談支援センターの整備 |
| 6 | 被害者の自立のための経済的支援 |
| 7 | 講演会の開催や広報誌等による暴力防止の意識啓発 |
| 8 | その他（ ） |
| 9 | わからない |

政策決定の場における男女共同参画について伺います

Q30 鴨川市では、令和7年4月1日現在、審議会等における女性委員の比率は24.0%です。今後の鴨川市における政策方針を決定する過程への女性の参画について、あなたはどのようになっていくことがよいと思いますか。（〇は1つ）

- 1 今のままでよい
- 2 女性がもう少し増えた方がよい
- 3 男女半々くらいがよい
- 4 男性を上回るほど女性が増えてほしい
- 5 今より女性が少なくてよい
- 6 性別にこだわる必要はない
- 7 その他（)
- 8 わからない

Q31 女性の議員や審議会委員が増加し、政策方針等を決定する過程への女性の参画が増えると、社会はどのように変わるとお考えですか。（〇は2つまで）

- 1 男性中心の考え方が変化する
- 2 行政への要望がきめ細くなる
- 3 より平等な社会になる
- 4 政治が身近なものになる
- 5 何も変わらない
- 6 社会にとっては好ましくない
- 7 その他（)
- 8 わからない

防災・災害対策についてお伺いします

Q32 あなたは、防災・災害復興対策に、女性の視点に配慮した対応が必要だと思いませんか。（〇は一つ）

- 1 必要である
- 2 どちらかといえば必要である
- 3 必要ない
- 4 どちらかといえば必要ない
- 5 わからない

Q33 防災・災害復興対策（災害発生時における避難場所での生活を想定）で女性の視点に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。（〇はあてはまるもの全て）

- 1 女性（妊産婦）や子育てのニーズに配慮した避難所の設置・運営体制
- 2 食料、飲料水、医薬品等物資の備えの充実や供給体制
- 3 被災者の相談受付体制
- 4 救急医療体制
- 5 特になし
- 6 その他（)
- 7 わからない

市の取り組みについてお伺いします

Q34 男女共同参画社会を実現していくために、今後鴨川市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇はあてはまるもの全て）

- 1 男女平等の考え方を社会全体に浸透させるための啓発事業の充実
- 2 女性への意識啓発や相談体制の充実
- 3 男性への意識啓発や相談体制の充実
- 4 学校における男女平等教育の推進
- 5 社会教育・生涯学習の場での学習の充実
- 6 審議会など政策・方針決定の場への女性の積極的登用
- 7 リーダー養成など女性の人材育成の推進
- 8 女性の再就職に役立つ学習機会や相談事業などの就労支援の充実
- 9 職場における男女均等な取り扱いについての周知徹底
- 10 仕事と子育て・介護を両立するために必要な公的サービスの充実
- 11 DVやセクハラを根絶するための支援の充実
- 12 検診体制や健康相談など健康に関わる事業の充実
- 13 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談や学習ができるセンター機能の充実
- 14 女性の視点に配慮した防災・災害対策の充実
- 15 その他（)
- 16 わからない

Q35 男女共同参画社会を実現していくまちづくりについて、ご意見等がございましたらご記入ください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

ご多用のところ、調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。